

檔 號：RND02021
保存年限：5

文藻學校財團法人文藻外語大學 函

地址：807高雄市三民區民族一路900號

承辦人：鍾詠竹

電話：(07)3426031轉5503

傳真電話：(07)3474837

電子信箱

：94085@mail.wzu.edu.tw

受文者：國立暨南國際大學

發文日期：中華民國104年8月7日

發文字號：高文日文字第1045500068號

速別：普通件

密等及解密條件或保密期限：

附件：如說明所示（1045500068-1.PDF、1045500068-2.PDF、1045500068-3.DOCX、1045500068-4.DOC，共4個電子檔案）

主旨：本校日本語文系訂於2016年5月21日（星期六）舉辦第六屆日台亞洲未來論壇「東亞知識的交流—越境、記憶、共存—」，敬請惠予公告，並鼓勵貴校教師及相關領域研究者踴躍投稿。

說明：

- 一、投稿截止日：即日起至2015年9月20日（星期日）前，請將報名資料mail至wenzaoaisf@gmail.com，並請註明「報名第六屆日台亞洲未來論壇論文發表」。
- 二、檢附中、日文版徵稿啟事及論文發表申請書、論文中外文摘要各乙份。
- 三、相關訊息請至本校日本語文系網頁查詢

<http://c025.wzu.edu.tw/front/bin/ptdetail.phtml?Part=hotnews85&Rcg=17>

第二層決行

正本：公私立大專校院

副本：本校日本語文系

104/08/07
15:17:50

校長 周 守 民

擬辦：

- 一、將來文上傳本校公文系統，公告週知。
- 二、文陳閱後存。

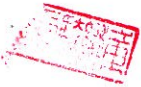
教授兼楊德芳
研發長

決代
行爲

約用許孟瑜
助理員
104.08.10

教授兼楊德芳
研發長





第六屆日台亞洲未來論壇

「東亞知識的交流—越境、記憶、共存—」

徵稿啟事

1. 會議宗旨：「日台亞洲未來論壇」是由日本公益財團渥美國際交流財團「關口全球研究會」主辦之國際研討會。關口全球研究會（SGRA）以促進台日學術交流及深化日本研究為目的，同時以思考日本、台灣乃至於亞洲的未來為宗旨，針對亞洲各國的文學、語言學、教育、歷史、社會、文化等領域進行討論。「第六屆日台亞洲未來論壇」的主題為「東亞知識的交流—越境、記憶、共存—」。

在帝國主義與殖民主義的推波助瀾下所形成的東亞近代化潮流，使得長期以來以中國為主的朝貢體系面臨崩解，取而代之的是以國民國家為主的國際關係，並且在東亞形成了以國民國家為單位的新的國際關係。其中日本可謂是最早仿效西歐的國家型態、成功建立現代國家的亞洲成員。在論述二十世紀東亞知識的交流之際，日本經常扮演重要的角色。

然而，由於近年全球化的急速發展，國民國家制度的恣意性愈益醒目；再者，在各種領域的活動中逐漸增加越境者的存在、不同的共同體之間記憶的建構、多元文化主義觀點下的共存實踐等等，各式各樣的交流形態，大大地改變了至今以國家為單位的知識交流型態。因此探討此一主題，便極具時代意義。本論壇意欲透過發表者多樣化的立場及研究方法，來解讀東亞知識交流的樣貌。

2. 主辦單位：日本公益財團渥美國際交流財團、文藻外語大學日本語文系、臺灣大學日本語文學系、日本研究中心
3. 會議地點：文藻外語大學
4. 會議時間：2016 年 5 月 21 日（星期六）
5. 會議主題：東亞知識的交流—越境、記憶、共存—
6. 【文學】

越境的性別

可視/不可視的性別

日本文學和東亞的接點

近代文學的創生和傳承

日本語文學的展開

橫跨的日本語文學

由日本語文學看知識(人)的表象

從日本文學看知識的傳播

近代文學形成中的「留學」



【日語語言學・教育】

從日語教育看多元文化共存的實踐
語音知覺發展所需的日語教育
日語教育中的實踐知識功能
日語的傳播趨勢
日語教育中知識的接受到知識的創造
全球化時代中日語教育的建構
多元文化共存和語言學習
從留學和移動看語言教育

【歷史・社會・文化】

後殖民狀況和日本
多元文化共存創造的「公共知」
東亞的知識的積累和變貌
跨學科的知識網絡
東亞的多元文化共存實踐
留學和移動形成的知識整合
東亞知識(人)的移動

7. 發表方式：【使用語言】日文、中文、英文或其他外語
【發表時間】發表 20 分鐘，討論 10 分鐘
8. 報名方法：**2015 年 9 月 20 日（星期日）前**，將報名資料之 WORD 檔寄至以下電子郵件地址。郵件名稱請註明「報名第六屆日台亞洲未來論壇論文發表」。資料不齊或逾期者皆不受理。
- 連絡人：日台亞洲未來論壇籌備委員會助理 邱琳
電子郵件：wenzaoaisf@gmail.com
電話：0933-274-803
9. 繳交資料：①論文發表申請書（附件 1）、②論文中外文摘要（附件 2）
10. 審查方式：發表摘要經本籌備委員會審慎評估會審後，決定接受論文篇數及發表者。
11. 審查結果通知：2015 年 11 月 30 日（星期一）前以電子郵件通知。
12. 論文全文截稿日期：2016 年 3 月 18 日（星期五）前繳交全文（8000 字以上）至上述電子郵件地址。
13. 論文發表之後，經修改、補述、送審通過者，將就相關主題納入臺灣大學「日本學研究叢書」（中日文）出版專書。

文藻外語大學日本語文系

第六屆日台亞洲未來論壇籌備委員會 敬邀



第六回日台アジア未来フォーラム

東アジアにおける知の交流—越境・記憶・共生—

発表募集

1. 主 旨：「日台アジア未来フォーラム」は日本公益財団法人の渥美国際交流財団「関口グローバル研究会」主催の国際会議である。関口グローバル研究会（SGRA）は日台の学術交流を促進し、日本研究の深化を目的とすると同時にアジアの未来を考えることをその設立の趣旨としている。本会議では主にアジアにおける文学、言語、教育、歴史、社会、文化などの議題を取り上げる。第六回目の開催となる今年は「東アジアにおける知の交流—越境・記憶・共生—」について議論する。

帝国主義と植民地主義の下で進められた東アジアにおける近代化の流れは、それまでの中国を中心とした朝貢システムを崩壊させ、国民国家を中心とした国際関係を東アジアにおいて成立させてきた。西欧的国家モデルをいち早く志向して近代国家の成立に成功した日本は、二十世紀東アジアにおける知の交流を語る際に常に重要な役割を果たしてきた。しかし、近年のグローバル化の急速な進展によって、国民国家制度の恣意性が明らかになり、また様々な分野の活動にみられる多くの越境者たちの存在や異なる共同体における記憶の構築、多文化主義に見られる共生の実践など、多種多様な交流の形態はこれまでのような国家単位における知の交流の形を大きく変えてきている。今日においてこうした議論は大変有意義であると思われる。本シンポジウムでは、こうした東アジアにおける知の交流の変容を、参加者たちの多様な立場とアプローチによって読み解いていきたいと考えている。

2. 主 催：日本公益財団法人の渥美国際交流財団、文藻外語大学日本語学科、台湾大学日本語文学学科、台湾大学日本研究センター
3. 会 場：文藻外語大学
4. 開催日：2016年5月21日(土)
5. テーマ：東アジアにおける知の交流—越境・記憶・共生—
6. 関係領域

【文学】

越境するジェンダー

可視化／不可視化されるジェンダー

日本文学と東アジアとの接点

近代文学における創生と伝承

日本語文学の展開



横断する日本語文学

日本語文学による知識（人）の表象

日本文学から見る知識の伝播

近代文学の生成における「留学」

【日本語学・教育】

日本語教育から見た多文化共生の実践

音声知覚にとっての日本語教育

日本語教育における実践知の役割

日本語の伝播の行方

日本語教育における知の受容から知の創造へ

グローバル化時代の日本語教育の構築に向けて

多文化共生と言語学習

留学と移動から見る言語教育

【歴史・社会・文化】

ポストコロニアル状況と日本

多文化共生による「公共知」の創出

東アジアにおける知の蓄積と変容

学際的な知のネットワーク

東アジアにおける多文化共生の実践

留学と移動による知の統合

東アジアにおける知識（人）の移動

7. 発表方法

- ・使用言語：日本語、中国語、英語、その他
- ・発表時間：発表 20 分・質疑応答 10 分

8. 申請方法

2015 年 9 月 20 日までに（１）「論文発表申請書」と（２）「論文要旨【中国語・外国語】」を下記のアドレスまで送って下さい。また、メールの件名は「第六回日台アジア未来フォーラム論文発表申請」として下さい。資料に不備があるものや締め切りを過ぎたものは受理しません。

連絡先：日台アジア未来フォーラム執行委員会秘書 邱琳

e-mail: wenzaoaisf@gmail.com

電話：0933-274-803

9. 提出資料：①「論文発表申請書」（添付資料 1）、②論文要旨【中国語・外国語】（添付資料 2）。

10. 審査方法：本フォーラム委員会の審査を経た後、採用の論文数と発表者 決



定いたします。

11. 審査結果：結果は 2015 年 11 月 30 日までに E メールにてお知らせいたします。
12. 論文提出期限：2016 年 3 月 18 日（金）までに完成した論文（8000 字以上）を上記のアドレスまで送って下さい。
13. 本フォーラムでの論文発表後、修正・補充・審査を経て、審査合格論文を編集して、台湾大学「日本学研究叢書」（中国語・日本語）において出版する予定です。

文藻外語大学日本語学科
第六回日台アジア未来フォーラム執行委員会



(附件 1)

第六屆日台亞洲未來論壇—
「東亞知識的交流—越境、記憶、共存—」

論文發表申請書

發表者姓名 (氏 名)	【中文】(中国語): 【外文】(日本語かその他外国語):		
通訊地址 (住 所)			
最高學歷 (最終學歷)	大學 博士・碩士 (博士・修士)		
所屬機構 (所 屬)		職 稱 (役 職)	
聯絡電話 (電 話)		行動電話 (携 帶)	
E-mail		傳 真 (F A X)	
1. 論文題目 (論文タイトル):			
2. 論文分類 (募集領域): ☐ 文學(文学) ☐ 日語語言學、教育 (日本語学・教育) ☐ 歴史、社會、文化 (歴史・社会・文化) ※請在分類中擇一勾選 (發表内容と関わる領域を一つ選んで下さい)			
3. 近五年主要研究業績 (五年以内に発表した主要な研究業績):			
4. 專攻領域 (專門領域):			



5. 近五年研究方向（ここ五年における研究の方向性）：

300 字以内，中、外文皆可(300 字以内の中国語、またはその他の外国語のどちらでも構いません)

申請日： 年 月 日



(附件 2)

第六屆日台亞洲未來論壇—
「東亞知識的交流—越境、記憶、共存—」
論文中外文摘要(論文要旨【中国語・外国語】)

發表者姓名 (發表者氏名)	【中文】(中国語): 【外文】(日本語かその他外国語):
論文題目 (論文タイトル)	【中文】: 【外文】:
關鍵字(中、外文皆 需, 各五個以內) キーワード(中国 語・外国語でそれぞ れ 5 個以內)	【中文】: 【外文】:
論文摘要(中、外文 皆需, 各 600 字內) 論文の要旨(中国語 と外国語でそれぞ れ 600 字以內)	【中文】: 【外文】:

